

研究構想シート		学校名	知夫村立知夫中学校				
		氏名	能海千文				
A 研究主題 探究的・協働的に学び、効果的に表現する生徒の育成～地域に学ぶ「総合的な学習の時間」の授業づくりを通して～							
B 研究の目的 めざす子ども像の実現に向け、授業等における具体的方策や教師の支援のあり方について研究仮説を立案し、実践を通してそれらを検証する。							
C 子どもの実態	E 手立て・内容（研究仮説）			D めざす子どもの姿			
<p>生徒の強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学力がある。 ・決められたことにまじめに取り組むことができる。 ・地域の方と協働することができ。 <p>生徒の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体性に欠ける。 ・自分を表現できない。 ・リーダーとしての力が弱い。 ・発想力が乏しい。 ・計画的に見通しを持つて活動できない。 ・周囲の状況を見ながら行動できない。 	<p>研究仮説 次の手立てを講ずれば、「探究的・協働的に学び、効果的に表現する生徒」を育成することができるだろう。</p> <p>手立て</p> <p>I 学習計画の見直し …生徒にとって必要感があり、実態に沿ったものとする。学年の系統性を持たせる。実践を重ねながら、全員で改善する。</p> <p>①テーマ「地域に学ぶ」 内容 1年 地域を知る → 2年 地域で働く → 3年 地域に貢献する</p> <p>②修学旅行実施年度の内容と時間配分の見直し（3年部） ※掲示をして、生徒に伝え、書き込みをさせることで理解を促す。</p> <p>II 授業づくり</p> <p>①探究サイクルの継続的・発展的な繰り返し（「探究的」）＝ポートフォリオの活用（振り返り→生徒が次時の学習内容を決める）</p> <p>F 検証方法</p> <p>①県、全国学力調査 ②習熟度テスト ③単元テスト ④発表資料、発表、新聞 ⑤生徒の説明に変容</p> <p>における思考・判断・表現の得点と記述内容</p> <p>について、前年度や年度初めと比較し、①「全国平均以上、昨年度以上 ②③「昨年度以上、前回以上」で仮説は立証されたとする。④⑤は評価規準を明確にして評価する。</p>			<p>○地域にとって必要であり、自分たちの力で解決可能な課題を設定をする姿</p> <p>○明確な手段・方法を持ち、多様な他者と協働して課題を解</p> <p>1学期 随時</p> <p>外部講師を招いての授業</p> <p>中1 8回実施予定</p> <p>中3 観光協会の方の修学旅行での研修</p> <p>2学期</p> <p>1人1回以上</p> <p>指導主事訪問授業</p> <p>山陰中央新報「新聞づくり教</p>			
G 研究計画 赤字：全員で取り組む							
月日		内容		月日		内容	
4月 5日（金）		校内研究概要伝達		6月26日（木）		指導主事訪問授業（中3理科）、指導	
4月18日（木）		全国学力調査（中3）※検証資料		2学期随時		高校生、他校生、地域の方々への中間発表（3年10	
5月 7日（火）		研究計画の伝達、グループ打ち合わせ		12月1日？		中1「しまね新聞コンクール」出品	
5月14日（火）		指導主事訪問授業（中3国語）、指導		12月3、4日		県学力調査（中1）※検証資料 1年 島前高生への参	
5月27日（月）		研究委員会・構想・進捗状況の確認		12月18or19日		総合的な学習の時間 発表会	
6月 4日（火）		指導主事訪問授業（中1総合）、指導		1月 日（ ）		全国学力調査（中4）学校負担 ※検証資料	
6月 5日（水）		指導主事訪問授業（中3英語）、指導		1月20日（ ）		研究委員会・検証方法の確認	
6月12日（水）		指導主事訪問授業（中3総合）、指導		2月17日（ ）		検証	
6月18日（火）		指導主事訪問授業（中3音楽）、指導		3月3日（ ）		振り返り、まとめ、来年度の計画	